

4年間の流れ 2025年度(予定) 変更になる場合があります

卒業に必要な単位:124単位  
 専門教育科目:84単位  
 全学共通科目:28単位  
 広域選択:12単位

必修:40単位  
 選択必修:32単位  
 選択:12単位

	1年次	2年次	3年次	4年次						
成長のプロセス	1・2年次は仏教学科と禅学科の区別はなく、仏教の歴史・思想・文化に関する教養や、文献読解に必要となる語学(中国古典語・サンスクリット語・その他)など、仏教を研究する上での基礎を学ぶ。		3年次からは、必修科目の「演習I」「演習II」を中心としながら、それぞれ関心を持った分野の禅の研究に取り組む。必要に応じて、仏教全般の専門科目も履修できる。							
必修	<ul style="list-style-type: none"> <li>仏教学入門</li> <li>仏教漢文入門</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>宗典</li> <li>坐禅I</li> <li>宗教学概論</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>禅思想概説 ①</li> <li>演習I</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>演習II</li> <li>卒業論文</li> </ul>						
選択必修	<ul style="list-style-type: none"> <li>インド仏教史</li> <li>中国仏教史</li> <li>日本仏教史</li> <li>中国禅宗史</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本禅宗史</li> <li>パーリ語初級</li> <li>サンスクリット語初級</li> <li>チベット語初級</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>宗教史</li> <li>仏教美術史</li> <li>インド哲学史</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中国哲学史</li> <li>漢文講読I</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>禅学研究A~C</li> <li>禅籍講読I~III ②</li> <li>宗教学研究</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>仏教美術研究</li> <li>漢文講読II</li> <li>英文仏書講読</li> </ul>				
選択	<ul style="list-style-type: none"> <li>仏教学セミナー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>東南アジア仏教史</li> <li>チベット仏教史</li> <li>韓国仏教史</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>仏教文化史</li> <li>禅文化史</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日用経典</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>インド仏教思想史</li> <li>中国仏教思想史</li> <li>日本仏教思想史</li> <li>禅美術 ③</li> <li>禅心理学</li> <li>仏教と社会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>仏教文献学</li> <li>仏教民俗学</li> <li>原始仏教</li> <li>真言学概論</li> <li>浄土学概論</li> <li>真宗学概論</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日蓮教学概論</li> <li>神道概説</li> <li>新宗教概説</li> <li>キリスト教概論</li> <li>イスラム教概論</li> <li>哲学概説</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>宗教哲学</li> <li>心理学概論I・II</li> <li>パーリ語上級</li> <li>サンスクリット語上級</li> <li>チベット語上級</li> <li>書道</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢詩作法</li> <li>青少年問題研究</li> <li>宗教教育</li> <li>宗教学概説</li> <li>禅学特講IA</li> <li>禅学特講II</li> <li>禅学特講III</li> <li>禅学特講IV</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>禅学特講III A</li> <li>禅学特講IV B</li> <li>仏教特講IA</li> <li>仏教特講II B</li> <li>仏教特講III A</li> <li>仏教特講IV B</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>坐禅II</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>仏教研究A~C</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>仏典講読I~III</li> <li>法式実習</li> </ul>					

① 禅思想概説

インドで生まれ、変遷しながら日本に伝わった禅。その思想について、構築の経過をたどりながら特徴を学びます。「概説」にこだわらず、原典を読みながら深い理解を目指します。

② 禅籍講読I~III

中国・日本の禅宗に関わる文献を講読します。各時代の禅僧らがのこした言葉を丹念に読むことで、往時の個性豊かで生き生きとした禅宗思想を修得します。

③ 禅美術

元は偶像崇拜をしなかった禅宗ですが、宋代には僧侶により水墨画が描かれ、鎌倉時代には日本にも伝わります。そうした作品から、制作者の宗教性などを読み解いていくのが目標です。

卒業論文テーマ・研究課題例

- 達磨の伝説に関する研究
- 道元禅師における食と修行
- 瑩山禅師の伝記と思想
- 禅宗の死生観と葬送儀礼
- 戦国武将と仏教についての一考察
- 枯山水の変遷について
- 北米での禅の広がり
- 現代社会と禅
- 仏教とマインドフルネス

私の

1 Week Schedule [3年次]

	Mon.	Tue.	Wed.	Thu.	Fri.	Sat.
前期				禅学研究C		
1				禅学研究C		
2	禅籍講読I			仏教研究C		
3	禅籍講読II	禅籍講読III		禅学研究B		
4	演習I	生命と環境			禅思想概説	
5						
6						

	Mon.	Tue.	Wed.	Thu.	Fri.	Sat.
後期				禅学研究C		
1				禅学研究C		
2	禅籍講読I	生涯スポーツ実習III		仏教研究C		
3	禅籍講読II	禅籍講読III		禅学研究B		
4	演習I				禅思想概説	
5						
6						

履修のポイント

印象的な授業は「中国禅宗史」です。中国で独自の発展を遂げた中国禅宗の歴史について学びました。中国古来からの宗教がある中で、外来の仏教が為政者との関わりの中で徐々に浸透していく、その課程が面白かったです。

学びから得たこと

高校までは、先生に板書されたことをノートに写し覚えるという学びでしたが、大学では講義内で出された課題に対して、自ら資料を集めて、取捨選択しながら、まとめる必要があり、その点が身についたと感じます。

Message

中国に輪廻転生思想を浸透させた『三報論』を研究。

将来お寺を継ぐ身であり、檀家さんに対して教えを説く側になるため、仏教や禅の考え方をういて、少しでも悩みや苦しみの手助けになりたいと考えています。

私が所属する程正先生のゼミでは、輪廻転生思想がまだ定着していなかった当時の中国において、報いには3種類があることを主張してその思想をより一層浸透させた廬山慧遠の『三報論』という書物について研究しています。今は卒業論文の執筆に取り組んでいますが、これまでの課題とは異なり、より多くの資料を必要とするため、些細な点から関係性を探り、1つのテーマに対してより深く把握できるように努力しています。

川窪 太俊さん  
 禅学科 4年  
 長野県岡谷南高等学校 出身

